



つなぐちゃんベクトル

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会社内誌 臨時増刊 143号 2010.9.8 発行 社会政策研究所

9月3日付で厚生労働省は、個人情報の取り扱いを改めて通知しました。また、療育手帳を含め、障害者の手帳制度を紹介した記事などをお届けします。【kobi】

個人情報の取り扱いで通知、高齢者見守り活動を促進—厚労省

キャリアブレイン 2010年9月7日

厚生労働省はこのほど、各都道府県の介護保険主管課あてに、地域で高齢者の安否確認などを行う「見守り活動」を促進するための事務連絡を通知した。見守り活動を行うには、高齢者の個人情報の取り扱いが難しいとする声が多数あったための措置。

同省の老健局振興課が通知した「地域包括支援センター等において地域の見守り活動等を構築していく際の支援を必要とする者に関する個人情報の取扱いについて」では、災害時などの要援護者情報の収集と共有方式について、自ら希望した人について情報収集する「手上げ方式」、要援護者への働き掛けにより情報を収集する「同意方式」、市町村が、個人情報保護条例中の個人情報の目的外利用・提供に関する規定に基づいて関係機関で情報共有する「関係機関共有方式」—を例示。市町村の具体的な事例などを紹介しながら、市町村が保有する情報を共有しながら地域の見守り活動を推進するよう求めている。

障害者手帳で支援さまざま

読売新聞 2010年9月7日

障害のある人は手帳を持っているそうです。その手帳を持てば、どんな支援が受けられるの？

等級で異なる措置

障害者の持つ手帳は、障害によって異なっている。身体障害のある人は「身体障害者手帳」、知的障害のある人は「療育手帳」、精神障害のある人は「精神障害者保健福祉手帳」。都道府県などから交付される。

身体障害者手帳の対象となる障害は表に示した通り。所定の用紙を用いた指定医の診断書と顔写真を添えて、市区町村の福祉担当窓口申請する。障害の程度によって1～6級に分かれる。有効期限はないものの、再認定の手続きが必要な場合もある。

療育手帳（東京都では「愛の手帳」と呼ばれるなど、都道府県で名称が違うこともある）の申請も、顔写真を添えて市区町村の福祉担当窓口へ。認定や等級は、知能指数で判定されるが、区分の仕方は都道府県などによって異なる。

例えば千葉県。最重度では18歳未満が「(A)」、18歳以上が「(A)の1」と「(A)の2」。最重度以外は年齢に関係なく、重度が「Aの1」と「Aの2」、中度が「Bの1」、軽度が「Bの2」となっている。

申請には、18歳未満は児童相談所で、18歳以上は「障害者福祉センター」などの名称の指定機関で、それぞれ面接による医師の判定が必要だ。有効期限があり、再判定と更

新の手続きが求められる。

精神障害者保健福祉手帳の申請も顔写真のほか、医師による所定の診断書が必要。ただ、障害者年金証書のコピーなどでもよい。等級は1～3級で、有効期限は2年だ。

手帳を持っていればさまざまな支援を使える。障害者自立支援法に基づく介護や就労支援などの福祉サービスをはじめ、所得税の障害者控除や住民税の非課税、自動車税の減免など。身体障害者手帳、療育手帳なら、鉄道、バス、航空機などの運賃や有料道路通行料金の割引が受けられる。



作図 デザイン課 大庭純子

身体障害者手帳で、両下肢、体幹などの障害1、2級、心臓、腎臓、呼吸器、小腸などの障害1、3級、免疫、肝臓の障害1～3級の人、選挙の時に、在宅での郵便投票制度を利用できる。

障害の等級や内容で、適用されるサービスや優遇の範囲は異なる。自治体によって微妙に違うこともある。どんな福祉が受けられるか確認も必要だ。(梅崎正直)

マルチメディア放送：事業者にドコモ陣営選定 電監審方針

毎日新聞 2010年9月8日

総務相の諮問機関、電波監理審議会は7日、12年4月から携帯端末向けにサービス開始予定の「マルチメディア放送」の事業者として、NTTドコモ陣営の「マルチメディア放送」(東京都千代田区)を選定する方針を固めた。週内に正式決定する。

マルチメディア放送の事業者枠は1社で、選定にはKDDI陣営の「メディアフロンティアジャパン企画」(同)も名乗りを上げ、日本独自規格を採用するドコモ陣営と、米国規格を採用するKDDI陣営の一騎打ちとなった。原口一博総務相は7月の政務三役会議で「日米関係にも配慮して妥当な結論を得るように」と指示。総務省は選定手続きを透明にするため、事業者を絞らない異例の方法で電監審に選定を諮問していた。

ドコモ陣営の基地局整備費はKDDI陣営のほぼ半額の438億円。基地局整備費が低

い方が、コンテンツを提供する事業者向けの利用料が安くなり、より多い事業者の参入が見込めることなどの点が、評価を受けたとみられる。【望月麻紀】

【ことば】マルチメディア放送

地上デジタル放送への移行で、11年7月に空きが生じる周波数帯の一部を使って、携帯電話やカーナビ、ゲーム機などに提供される有料放送。携帯電話端末向けの地上デジタル放送「ワンセグ」に比べ高画質で、スポーツやニュースなどの生放送を視聴できるほか、夜間などの一括配信で端末側に自動蓄積させるため、2時間映画などを途切れることなく視聴できる。

立岩真也著『人間の条件 そんなものない』 現代の「正しさ」を疑うレッスン

共同通信 2010年9月6日

できることはよいことか、という問いから本書は出発する。

この社会では、できると得をする。ここから能力主義というテーマが導かれる。それは障害者差別や老人介護の問題につながる。

できる人は価値があると見なされる。できなければ価値がないという見方は、尊厳死の論議を呼び、自己決定・自己責任という主題に連なる。

できる人は対価を多くもらえる。貧困や格差の問題が浮上する。できない人にも最低限の生活をという主張からは、ベーシックインカムやワークシェアリングの話になる。

さあ、そんなふうに著者は現代社会が直面するテーマを原理的に問い直し、どのレベルで何が問われているのかを腑分けしながら問題のありかを探り出す。そして、世間で正しいと言われていることは必ずしも正しくはないし、当然とされていることは言うほど当然ではないことを解き明かしていく。できることは別によいことではないのだ、と。

本書の真価は導かれた結論ではなく、むしろそのプロセスにある。読者は著者の千思万考を追いながら「疑う作法」を学び、「思考のレッスン」を受けられることになる。

中学生以上に向けた「よりみちパン！セ」シリーズの1冊なので難しい専門用語はいっさいないが、かなり厚めで（約400ページ！）著者独特のうねうねした文章に付いていくのはそう簡単ではない。

一気に読み通そうとすると脳細胞が疲弊する。1日1章、行きつ戻りつゆっくりと読むことをお勧めする。

（理論社 1500円＋税）＝片岡義博



たまには太陽の子・手をつなぐ、たまにはつなぐちゃんベクトル、たまにブログたまにはチェック



大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行